

～みんなの健活プロジェクト～
「健康経営と企業経営との関係性」に関する共同研究について
明治安田生命 × 早稲田大学

明治安田生命保険相互会社（執行役社長 永島 英器）と早稲田大学（総長 田中 愛治）は、2019年3月に締結した包括連携協定（注1）における連携事業の一環として「健康経営と企業経営との関係性」に関する共同研究について、2022年8月中に正式に契約を締結し調査・研究を開始いたします。（研究課題名：健康経営施策の効果検証の研究、研究期間：5年間）

当研究では、早稲田大学 政治経済学術院・大湾 秀雄 教授、教育・総合科学学術院・黒田 祥子 教授と明治安田生命保険相互会社の共同で、「どのような健康施策が健康改善効果が高いのか」「どのような属性のどのような働き方をする個人に健康施策が有効か」「企業にとって健康経営投資はどのくらいリターンがあるのか」など、健康経営と企業経営の関係性を定量化することをめざします。

具体的には、明治安田生命が、企業・団体に対して、従業員・所属員の健康課題を把握するために提供している「健活分析レポート」（注2）の健診データを利用し、健康経営の効果・メリットを可視化します。これにより、健康経営にこれから取り組もうとしている企業や取り組んではいるものの従業員の健康改善に至っていない企業における、効果的な取り組みの支援など健康経営の後押しをしてまいります。

なお、早稲田大学と明治安田生命保険相互会社は今後も本協定により、「地方創生」「健康増進」「スポーツ」等をキーワードに連携事業を展開し、「みんなの健活プロジェクト（注3）」を通じて地域の健康増進を応援してまいります。

（注1）2019年3月27日リリース「早稲田大学との『包括連携協定』の締結について」
https://www.meijiyasuda.co.jp/profile/news/release/2018/pdf/20190327_01.pdf

（注2）明治安田生命 企業団体向けの取り組み商品・サービスのご案内
<https://www.meijiyasuda.co.jp/enjoy/ld/kenkatsu/project/corporation/>

（注3）「人生100年時代」を迎え、健康寿命の延伸に対するニーズが高まっているなか、明治安田生命が「商品・サービス・アクション」の3つの分野で、「お客さま・地域社会・働く仲間（当社従業員）」の継続的な健康増進を応援する取り組み
プロジェクト詳細：<https://www.meijiyasuda.co.jp/enjoy/ld/kenkatsu/>

【お問い合わせ先】早稲田大学総長室社会連携課

TEL:03-3204-4604 Email:external@list.waseda.jp

■研究者

早稲田大学 政治経済学術院・大湾 秀雄 教授



スタンフォード大学 Ph. D. (Business)、ワシントン大学オーリン経営大学院助教授、青山学院大学国際マネジメント研究科教授、東京大学社会科学研究所教授を経て現職

人事経済学、組織経済学、イノベーションの経済学を主な研究領域とし、データサイエンティストの育成や健康経営・育成・異動配置の評価・改善に向けての企業との共同研究に注力。早稲田大学組織経済実証研究所、所長。(独)経済産業研究所、ファカルティフェロー、ピープル・アナリティクス&HRテクノロジー協会理事、(株)東大エコノミックコンサルティング(UTEcon)アドバイザー

※早稲田大学組織経済実証研究所

<https://www.waseda.jp/inst/cro/institutes-list/institute-for-empirical-research-in-organizational-economics/>

早稲田大学 教育・総合科学学術院・黒田 祥子 教授



慶應義塾大学経済学部卒、同大学博士(商学)。日本銀行金融研究所勤務、一橋大学助教授、東京大学准教授を経て、2014年より現職

労働経済学を専門とし、働き方が健康や生産性に及ぼす影響等を研究。早稲田大学組織経済実証研究所、所員。(独)経済産業研究所ファカルティフェロー、(株)東大エコノミックコンサルティング(UTEcon)アドバイザーのほか、厚生労働省「労働政策審議会」、「社会保障審議会」、「これからの労働時間法制検討会」、総務省統計局「雇用失業統計研究会」の委員等の公職を務める

以 上